

## 株式投資

3

株式投資の基本	3
株式投資の仕組み	3
株式投資のメリット	3
株式投資のリターン	3
株式投資を始める前のマインドセット	3
<b>1. 証券会社の口座を開く</b>	<b>4</b>
証券会社の選び方	4
証券会社の比較	5
口座開設から取引までの流れ	6
証券会社を選ぶポイントのまとめ	6
ワーク 証券会社の口座を開設しよう	6
<b>2. 銘柄を選ぶ</b>	<b>7</b>
投資スタイルを決める	7
長期投資の銘柄を選ぶ重要な7つの条件	7
日本とアメリカの成長比較	7
黒田が保有したことがある米国株式銘柄例	8
銘柄の選び方のまとめ	9
<b>3. 株式を購入する</b>	<b>9</b>
① 銘柄を検索する	9
② 購入株数を決める	9
③ 取引形態を決める	9
株式投資のまとめ	9

## 資産運用を実践する

10

資産を運用を始める前のマインドセット	10
いきなり大きな金額を投資しない	10
リスクバランスを意識する	10
一発逆転を狙わない	10
損きりする勇気を持つ。	10
<b>オススメする資産運用</b>	<b>10</b>
海外積み立て投資	10
海外株式投資	10
国内不動産投資	11

事業投資	11
自己投資	11
どの資産運用をするのか？	11
目標から逆算して考える	11
ケース別オススメ資産運用	12
ポートフェリオの例	12
資産500万円未満&年間投資額100万円未満	12
資産500万円以上&年間投資額100万円以上	12
ワーク 自分の投資戦略を考えてみよう	13

# 株式投資

## 株式投資の基本

### 株式投資の仕組み

会社が新規事業や事業拡大など新たに資金が必要となった際に、資金調達的手段として発行するものを株式（株）といいます。

出資者（投資家）がお金を出して企業が発行した株式を買い、企業はそのお金で資金を調達します。出資者（投資家）側はその株式を保有することで企業の利益の一部を「**配当金**」としてもらえたり、企業の様々なサービスを得ることができる「**株主優待**」という形で利益を得ることができます。

### 株式投資のメリット

- ① 少額から投資できる
- ② 投資にかかる時間が少ない
- ③ 比較的、流動性が高い
- ④ 分散投資がしやすい

### 株式投資のリターン

#### ■ インカムゲイン

→株の配当、株主優待

#### ■ キャピタルゲイン

→株を売った時の値上がり益

#### ■ 適正リターン

ローリスクで年利5～10%

ミドルリスクで年利20～30%

### 株式投資を始める前のマインドセット

- ・ 株価の変動に一喜一憂しない
- ・ 5年単位で判断する
- ・ いい株はできる限り持ち続ける

## 株式投資を始めるステップ

1. 証券会社の口座を開く
2. 銘柄を選ぶ
3. 株式を購入する

# 1. 証券会社の口座を開く

## 証券会社の選び方

### ※留意事項

#### ■ ネット証券か総合証券かで選ぶ

証券会社には野村証券や大和証券などの総合証券と、SBI証券、楽天証券、マネックス証券などに代表されるネット証券の2つに大きく分かれています。総合証券は店舗があり対面営業をしていて、ネット証券の取引は全てネットで完結するようになります。SBI証券は例外として店舗がありますが、総合証券は店舗がある分、人件費がかかるため手数料が高く、ネット証券は店舗がない分コストを下げられるので手数料が安くなる。

#### ■ 主な大手証券・ネット証券で日本株を50万円購入した時の手数料比較（単位：円、税抜）

証券会社名(プラン名)	コンサル	対面/電話/ネット	手数料(税抜)	手数料%
野村証券(本・支店:お店)	○	対面	6,500	1.30
大和証券(コンサルティングコース:お店)	○	対面	5,750	1.15
大和証券(コンサルティングコース:ネット)	○	ネット	4,309	0.86
野村証券(ネット&コール:電話)	×	電話	4,095	0.82
大和証券(ダイレクトコース:電話)	×	電話	4,025	0.81
SMBC日興証券(総合コース:ネット)	○	ネット	4,025	0.81
大和証券(ダイレクトコース:ネット)	×	ネット	1,725	0.35
野村証券(ネット&コール:ネット)	×	ネット	477	0.10
マネックス証券(ネット)	×	ネット	450	0.09
岡三オンライン証券(ネット)	×	ネット	350	0.07
楽天証券(ネット)	×	ネット	250	0.05
SBI証券(ネット)	×	ネット	250	0.05
ライブスター証券(ネット)	×	ネット	180	0.04

注：取引毎の手数料を記載、各種割引・特典は考慮せず 注：2018年1月5日時点

参照) 1からはじめる初心者にはやさしい株入門 <https://www.kabu-1.jp/netshouken/3/kabutesuuryou/>

## ■ 口座の種類で選ぶ

一般口座	すべてのお客様が保有している口座です。お客様ご自身で1年間（1月1日から12月31日）の上場株式等の譲渡損益等の計算を行い、確定申告をする必要があります。
特定口座	<p>お客様に代わって証券会社が上場株式等の譲渡所得（課税対象額）の計算を行い、「年間取引報告書」を交付する口座です。特定口座では、「源泉徴収あり」と「源泉徴収なし」のどちらかを選択します。</p> <p>&lt;源泉徴収あり&gt;</p> <p>お客様ご自身での確定申告は、原則として不要です。特定口座内での現物売却・信用返済の約定日ごとに、所得税および住民税の源泉徴収や還付を証券会社が行い、納税します。</p> <p>&lt;源泉徴収なし&gt;</p> <p>基本的に確定申告が必要です。特定口座内での現物売却・信用返済等の損益が記載された「年間取引報告書」により、簡易な手続きで確定申告が可能です。</p>
NISA口座	「少額投資非課税制度」が適用される口座です。NISAは年間120万円（ジュニアNISAの場合は年間80万円）、つみたてNISAは年間40万円を上限として、新規購入した取扱商品の譲渡益、口座内で保有している上場株式の配当金が非課税対象となります。

参照) 松井証券 [https://support.matsui.co.jp/faq/show/437?category\\_id=94&site\\_domain=faq](https://support.matsui.co.jp/faq/show/437?category_id=94&site_domain=faq)

## ■ 日本株か米国株かで選ぶ

株には日本株を購入する国内株式市場と、米国株などを購入する海外株式市場がある。

そして、米国株式を購入できる証券会社は限られている。

## 証券会社の比較

	楽天証券	マネックス証券	SBI証券	サクソバンク証券
NISA対応	○	○	○	×
売買通貨	米ドル	米ドル	米ドル	米ドル
取扱銘柄	約1400銘柄	約3300銘柄	約1400銘柄	ほぼ全銘柄
売買手数料	約定代金の0.45% (最低5ドル、最大20ドル)	約定代金の0.45% (最低5ドル、最大20ドル)	約定代金の0.45% (最低5ドル、最大20ドル)	約定代金の0.2% (最低5ドル、最大15ドル)
為替手数料	片道25銭	片道25銭	片道25銭 ※FXを利用すれば引き下げ可能	片道25銭
配当金の受け取り	米ドルで受け取り	米ドルで受け取り	米ドルで受け取り	日本円で受け取り

■ 手数料の一例 投資額50万円の場合(100円=1ドルの為替レートで計算)

	楽天、マネックス	SBI	サクソバンク
投資額	50万円	50万円	50万円
売買手数料 (往復)	40ドル	40ドル	30ドル
為替手数料 (往復)	25ドル	25ドル FX 5ドル	25ドル
手数料合計	65ドル	65ドル FX 45ドル	55ドル

※特定の証券会社を推奨しているわけではありません。

※情報は随時変わる可能性があります。こちらは2018年11月時点での情報です。

## 口座開設から取引までの流れ

- I. 証券会社を決める
- II. 口座開設の手続きをする
- III. 口座開設完了通知を受ける
- IV. 自分の証券口座にお金を送金する
- V. 入金反映されたら取引開始

## 証券会社を選ぶポイントのまとめ

- ・手数料は安い方がいい
- ・取扱銘柄が多い方がいい
- ・税金計算が楽な方がいい
- ・初期はNISA口座から始めた方がいい

## ワーク 証券会社の口座を開設しよう

### ■ 楽天証券

[https://www.rakuten-sec.co.jp/ITS/new\\_account\\_open/?aid=af\\_TG\\_SEC\\_point](https://www.rakuten-sec.co.jp/ITS/new_account_open/?aid=af_TG_SEC_point)

### ■ SBI証券

[https://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/affiliate/LP\\_program\\_190201\\_03.html?adpr=af\\_at\\_pc\\_point\\_cpn&waad=C9rub2d0&atnct=etrade2\\_0100gwwy001jw6-180a62f45c76129f7a4951297b9bc4d4&hc\\_uus=4e2a55b95fdcdelcbabc958dafaea962](https://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/affiliate/LP_program_190201_03.html?adpr=af_at_pc_point_cpn&waad=C9rub2d0&atnct=etrade2_0100gwwy001jw6-180a62f45c76129f7a4951297b9bc4d4&hc_uus=4e2a55b95fdcdelcbabc958dafaea962)

### ■ マネックス証券

<https://info.monex.co.jp/account/index.html>

### ■ サクソバンク証券

<https://www.home.saxo/ja-jp/accounts/>

## 2. 銘柄を選ぶ

### 投資スタイルを決める

1. デイトレード
2. 短期・中期投資
3. 長期投資

### 長期投資の銘柄を選ぶ重要な7つの条件

- ① 業界のシェアが大きい会社である
- ② 定期的に配当を出している企業である
- ③ 不況に耐えられる、または耐えてきた企業である
- ④ 今後も成長が見込める企業である
- ⑤ キャッシュフローが潤沢な企業
- ⑥ 一貫して収益を上げている
- ⑦ 適切な価格の会社である

→決算報告書や会社ホームページから調査

→海外株式の場合は自力での調査は難しい

### 日本とアメリカの成長比較



参照) 日経平均株価 AI予想 <https://nikkeiyosoku.com>

## 黒田が保有したことがある米国株式銘柄例

銘柄	ティッカーシンボル	約定日	リターン	配当利回り	購入推奨上限価格
コカ・コーラ	KO	2012/05/29	36.29%	3.43%	\$37
ネスレ	NSRGY	2012/06/22	62.36%	2.8%	\$68
プロクター・アンド・ギャンブル	PG	2012/07/02	56.69%	3.45%	\$81
アメリカンエキスプレス	AXP	2012/08/20	74.46%	1.46%	\$96
ウェルズ・ファーゴ	WFC	2012/09/13	84.39%	2.76%	\$65
ケロッグ	K	2012/10/19	51.87%	3.21%	\$57
ベクトン・ディッキンソン	BDX	2012/11/09	217.04%	1.39%	\$145
マクドナルド	MCD	2012/12/28	114.50%	2.38%	\$101
3M	MMM	2013/02/01	150.52%	2.09%	\$150
IBM	IBM	2013/03/12	-16.96%	4.01%	\$206
シェブロン	CVX	2014/05/08	5.71%	3.81%	\$135
アンハイザー・ブッシュ・インベブ	BUD	2014/09/26	3.21%	3.92%	\$115
ディアジオSp ADR	DEQ	2014/12/23	27.07%	2.38%	\$125
アップル	AAPL	2018/6/22	15.83%	1.40%	\$226

※リターンは、配当も再投資した複利運用の場合のリターンです。

※購入推奨上限価格は、それ以下の価格で購入するとお得に購入できると考えられる価格です。

※特定の銘柄を推奨する意図はありません。リターンを保証するものでもありません。

※全ての数値は今後変わっていく可能性があります。

銘柄	ティッカーシンボル	約定日	リターン	配当利回り	各銘柄に100万円投資していた場合の損益
コカ・コーラ	KO	2012/05/29	36.29%	3.43%	¥362,900
ネスレ	NSRGY	2012/06/22	62.36%	2.8%	¥623,600
プロクター・アンド・ギャンブル	PG	2012/07/02	56.69%	3.45%	¥566,900
アメリカンエキスプレス	AXP	2012/08/20	74.46%	1.46%	¥744,600
ウェルズ・ファーゴ	WFC	2012/09/13	84.39%	2.76%	¥843,900
ケロッグ	K	2012/10/19	51.87%	3.21%	¥518,700
ベクトン・ディッキンソン	BDX	2012/11/09	217.04%	1.39%	¥2,170,400
マクドナルド	MCD	2012/12/28	114.50%	2.38%	¥1,145,000
3M	MMM	2013/02/01	150.52%	2.09%	¥1,505,200
IBM	IBM	2013/03/12	-16.96%	4.01%	-¥169,600
シェブロン	CVX	2014/05/08	5.71%	3.81%	¥57,100
アンハイザー・ブッシュ・インベブ	BUD	2014/09/26	3.21%	3.92%	¥32,100
ディアジオSp ADR	DEQ	2014/12/23	27.07%	2.38%	¥270,700
アップル	AAPL	2018/6/22	15.83%	1.40%	¥158,300
各銘柄に100万ずつ投資していた場合		総投資額	リターン	プラス金額	総額
		¥14,000,000	158.55%	¥8,829,800	¥22,829,800

## 銘柄の選び方のまとめ

- ・まずは、株式投資で期待するリターンや時間を決める
- ・初心者の場合は、長期投資で米国株式がおすすめ
- ・1つの銘柄ではなく複数の銘柄選びをすることでリスク分散

## 3.株式を購入する

### ① 銘柄を検索する

- ・会社名やティッカーシンボルを検索する
- ・決めた銘柄をお気に入り・ポートフェリオに登録しておくとう便利

### ② 購入株数を決める

- ・購入金額を決める（米国株の場合は、1取引につき10万円以上を推奨）
- ・購入金額に応じた株数を決める

### ③ 取引形態を決める

#### ■ 指値取引と成行取引

指値注文とは、買うもしくは売る値段を自分で指定して注文する方法です。例えば「300円の指値で1,000株の買い注文」とか「500円の指値で2,000株の売り注文」といった使い方をします。

成行注文とは、値段を指定しない注文方法です。「成行で1000株の買い注文」とか「成行で3000株の売り注文」といった使い方をします。

## 株式投資のまとめ

- ・株式投資は初心者が取り組みやすい投資
- ・証券会社はまずはネット証券から
- ・勝てる投資も大事だが、負けない投資はもっと大事
- ・銘柄選びは慎重に
- ・実際に始めることが一番大事

# 資産運用を実践する

資産運用についての基本とリスクを理解したら、実際に資産運用をはじめていく。  
始める前に忘れないで欲しい、マインドセットをお伝えします。

## 資産を運用を始める前のマインドセット

### いきなり大きな金額を投資しない

→毎月の収入の10%、総資産の20%程度から始める。徐々に投資金額を大きくしていく。

### リスクバランスを意識する

→1つのリスクに偏らないように投資する。自分の中で、最適なリスクバランスを考える。

### 一発逆転を狙わない

→一気にお金を増やそうとすると、逆に一気にお金を失う。一気にお金を増やしたいのなら、資産運用よりもビジネスの方がいい。

### 損きりする勇気を持つ。

→どんな投資家でも、損失を出すことはある。損失を大きくしすぎないように時には損きりする勇気をもつ。

## オススメする資産運用

### 海外積み立て投資

将来の老後資金のための投資。ローリスクで確実に資産を増やすことができる。保険的な役割にもなる。

- 資本→投資金額月2万円～5万円
- 利回り→年利6%～9%（ローリスク）
- 時間→15年以上
- 流動性→低い

### 海外株式投資

中長期で安定的に資産を増やすための投資。銘柄選びさえ間違えなければ、安定的に資産を増やせる。  
株価暴落時には一時的に資産は減るので注意する。

- 資本→投資金額10万円以上
- 利回り→年利10%（ローリスク～ミドルリスク）
- 時間→10年以上
- 流動性→高い

## 国内不動産投資

ローンでレバレッジを利用し、キャッシュフローを増やすための投資。会社員だからこそできる融資を積極的に活用して、資産を増やしていく。

- 資本→投資金額100万円以上
- 利回り→年利6%~15% (ミドルリスク)
- 時間→半年以上
- 流動性→低い

## 事業投資

未上場の国内海外の伸びる事業に対して投資する。まとまったお金が必要だが、高いリターンと安定的な配当などが魅力。分散投資として活用する。

- 資本→投資金額50万円以上
- 利回り→年利10%~30% (ミドルリスク~ハイリスク)
- 時間→1年~5年
- 流動性→低い

## 自己投資

収入が低い場合は、まず自分の収入を増やすための投資を最優先。大きなリターンを得られるが、リスクも高い。老後の安定だけを求める場合は、オススメしない投資。

- 資本→投資金額200万円以上
- 利回り→100%~∞ (ハイリスク)
- 時間→個人差あり
- 流動性→なし (掛け捨て)

## どの資産運用をするのか？

考えるのは「時間」と「お金」のバランス。

### 目標から逆算して考える

自分が作り上げたい資産・キャッシュフローから逆算して、なにに投資するかを決める。

#### ステップ1

- (理想の年収-現在の年収) ×10倍の資産を目標にする
- 現在の年収と同じキャッシュフローを目標にする

## ステップ2

- 理想の年収×10倍の資産を目標にする
- 理想の年収と同じキャッシュフローを目標にする

- ・現在の資産と理想の資産のギャップを計測
- ・理想を達成したい時間を設定（年数）
- ・それに必要な投資金額と利回りを算出する
- ・達成可能な投資を決める

→最低でも1年に一回、自分の資産を整理して投資金額・期間を見直す

## ケース別オススメ資産運用

- 時間がかかってもいいから、ローリスクで確実に資産を増やしたい。

→海外積み立て&海外株式

- あまり、手間をかけずに着実に資産を増やしたい。

ローリスク→海外積み立て&海外株式

ミドルリスク→海外積み立て&海外株式&事業投資

- レバレッジを効かせて、できる限り早く資産を増やしたい。

ミドルリスク→不動産投資

ハイリスク→自己投資orVC

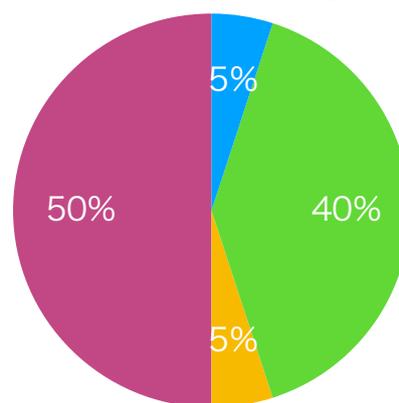
## ポートフェリオの例

### 資産500万円未満&年間投資額100万円未満

自己投資の比率を高めて、まずは年間100万円以上投資できる資金を稼げる自分を最優先。

投資するならレバレッジを利用した国内不動産投資と時間を味方にしてできる積み立て投資。それ以外の投資は、バランスを見ながら。

- 海外株式投資
- 国内不動産投資
- 積み立て投資
- 事業投資
- 自己投資
- その他



### 資産500万円以上&年間投資額100万円以上

短期間に自己投資を中心にして事業で資産を築くか、中長期にバランスよく投資して資産を築くかの選択をする。

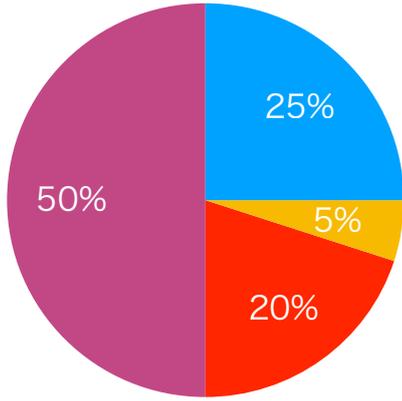
自己投資中心の場合は自己投資の比率は残しつつ、手間がかからない株式投資や事業投資を中心に。

バランスよく投資する場合は、自己投資を減らして、そのほかの投資金額を増やしていく。

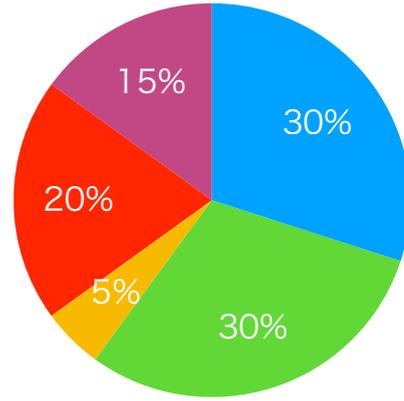
- 自己投資中心パターン

- バランス投資パターン

● 海外株式投資 ● 国内不動産投資  
 ● 積み立て投資 ● 事業投資  
 ● 自己投資 ● その他



● 海外株式投資 ● 国内不動産投資  
 ● 積み立て投資 ● 事業投資  
 ● 自己投資 ● その他



## ワーク 自分の投資戦略を考えてみよう

- ・ どれくらいの資産・キャッシュフローを目指すのか？（目標資産・キャッシュフロー）
- ・ どれくらいの期間で資産を構築するのか？（目標年数）
- ・ どれくらいの金額を投資していくのか？（年間投資額）
- ・ どんな投資スタイルを選ぶのか？（どの投資をするのか？）